

高等学校グランドデザイン会議 第1・2専門委員会 検討の進捗状況

平成18年11月末現在

項 目		検討状況	
第1専門委員会	1 県立高等学校の適正な学校規模・配置の在り方	↑ ↓ 次回以降	
	①1学年当たりの適正な学級数		
	(ア) 市部、町村部の高校のそれぞれの望ましい学級数		
	(イ) 普通高校、職業高校、総合学科の高校のそれぞれの望ましい学級数		
	②普通科と職業学科と総合学科の在り方		
	(ア) 普通科、職業学科、総合学科の目指す役割		
	(イ) 全県的視野での普通科、職業学科、総合学科の地区毎の募集割合		
	③適正な学校規模を実現するための方策		
	(ア) 全県的視野での統廃合の必要性と可能性		
	・統廃合以外の選択肢		
	(イ) 統廃合の進め方		
	・統廃合による新しいタイプの高校の可能性		
	・統廃合基準を設定するのか		
	(ウ) 地区毎の学校配置		次回以降
④校舎制の今後の方向性			
⑤定時制の今後の方向性			
第2専門委員会	2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方	↑ ↓	
	⑥学科コース等の今後の方向性		
	(ア) 各学科・コース及び系列の検証		
	(イ) これまで設置した学科・コースの今後の在り方		
	(ウ) 普通科における全日制単位制の在り方		
	(エ) 新しい学科等の設置の必要性		
	(オ) 統廃合による、新しいタイプの高校の可能性		
	(カ) 専門学科の募集方法		
	3 県立高等学校と中学校や大学等との連携の在り方		次回以降
	⑦学校間連携の今後の方向性		
(ア) 中高一貫教育を含めた中高連携の在り方			
(イ) 高大連携の在り方			